

講 義 要 項

授業科目	小児の病態生理			担当者	堀之内 兼一
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態	履修年次・前／後	
	1 単位	30 時間	講義・演習	2年次・前期	
授 業 目 標					
1. 子どもが罹患しやすい代表的疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 小児科の特殊性	1. 代表的小児疾患について、生理、症状、検査、治療、処置を理解できる。	1. 小児科の特殊性 1) 小児の疾患の特徴 2) 胎児期からの医学	2		講義 演習 発表
2. 染色体異常・先天異常の疾患	1. 染色体異常・先天異常について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 染色体異常 1) ダウン症候群 2) クラインフェルター症候群 3) ターナー症候群 4) その他の染色体異常 2. 先天異常 1) 胎芽病 2) 胎児病 3) TORCH感染症			講義 演習 発表
3. 内分泌・代謝性疾患	1. 小児の代表的な内分泌・代謝性疾患の疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 新生児マススクリーニング 2. 先天性代謝異常症 3. I型糖尿病 4. アセトン血性嘔吐症 5. 中枢性尿崩症 6. 成長ホルモン分泌不全性低身長 7. 甲状腺機能亢進症 8. 先天性甲状腺機能低下症 9. 副甲状腺疾患 10. 中枢性思春期早発症	2		講義 演習 発表
4. 免疫・アレルギー・リウマチ性疾患と呼吸器疾患	1. 小児の代表的な免疫・アレルギー・リウマチ性疾患と呼吸器疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 免疫・アレルギー・リウマチ性疾患 1) 免疫不全症 2) アレルギーの分類 3) 気管支喘息 4) 食物アレルギー 5) アナフィラキシー 6) 若年性関節リウマチ 2. 呼吸器疾患 1) 上気道の疾患 2) 急性気管支炎 3) マイコプラズマ肺炎 4) 気管支喘息	3		講義 演習 発表

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
5. 感染症	1. 小児の代表的な感染症について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 子どもの免疫の特徴 2. ウィルス感染症 1) 麻疹 2) 風疹 3) 伝染性紅斑 4) 突発性発疹 5) 単純ヘルペス感染症 6) 水痘 7) 手足口病 8) ヘルパンギーナ 9) 咽頭結膜炎 10) 流行性耳下腺炎 11) 伝染性単核症 12) ポリオ 13) インフルエンザ 14) 日本脳炎 15) S S P E 3. 細菌感染症 1) 百日咳 2) ジフテリア 3) S S S S 4) 溶血性レンサ球菌感染症 5) 破傷風	4		講義 演習 発表
6. 循環器疾患	1. 小児の代表的な循環器疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 心室中隔欠損症 2. 肺動脈狭窄症 3. 心房中隔欠損 4. ファロー四徴症 5. 動脈管開存症 6. 大動脈縮窄症 7. 完全大血管転位症 8. 心内膜欠損症 9. 児の心不全症状と看護 10. 川崎病 11. 小児の突然死	3		講義 演習 発表
7. 消化器疾患	1. 小児の代表的な消化器疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 口唇口蓋裂 2. 正中頸嚢胞 3. 横隔膜ヘルニア 4. 先天性食道閉鎖 5. 胃食道逆流症 6. 肥厚性幽門狭窄症 7. 胃軸捻転症 8. 胃・十二指腸潰瘍 9. 新生児胃穿孔 10. 先天性腸閉塞 11. ヒルシュスプルング病 12. 鎖肛 13. 腸重積症 14. 急性虫垂炎 15. 潰瘍性大腸炎 16. クロウン病 17. 過敏性大腸症候群 18. 臍帯ヘルニア 19. 胆道閉鎖症 20. 急性乳幼児下痢症	3		講義 演習 発表

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
8. 血液・造血器疾患と悪性新生物	1. 小児の代表的な血液・造血器疾患と悪性新生物について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 血液・造血器疾患 1) 貧血 2) 血友病 3) 血管性紫斑病 4) 突発性血小板減少性紫斑病 5) DIC 2. 悪性新生物 1) 小児がんの治療と副作用 2) 網膜芽細胞腫 3) 肝芽腫 4) 神経芽腫 5) ウィルムス腫瘍 6) 悪性リンパ腫 7) 白血病（骨髄移植） 8) 脳腫瘍 9) 骨肉腫 10) ユーイング肉腫	2		講義 演習 発表
9. 腎・泌尿器と生殖器疾患	1. 小児の代表的な腎・泌尿器と生殖器疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 腎・泌尿器疾患 1) 先天性腎尿路異常 2) 尿道下裂 3) 糸球体疾患 (1) 一次性糸球体腎炎 (2) 二次性糸球体腎炎 (3) ネフローゼ症候群 4) 尿細管間質疾患 5) 慢性腎臓病 6) 急性腎障害 (1) 溶血性尿毒症症候群 7) 腎尿路疾患の診断に用いられる検査 8) 末期腎不全と腎代替療法 9) その他の尿路疾患 (1) 尿路感染症 2. 生殖器疾患 1) 停留精巣 2) 陰嚢水腫	2		講義 演習 発表
10. 神経・運動器疾患	1. 小児の代表的な神経・運動器疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 神経疾患 1) 脳と神経の発達と反射 2) 二分脊椎 3) 水頭症 4) てんかん 5) もやもや病 6) 筋ジストロフィー 7) 脳性麻痺 8) 髄膜炎 2. 運動器疾患 1) 先天性股関節脱臼 2) 先天性内反足 3) 先天性筋性斜頸 4) 脊柱側彎症	2		講義 演習 発表

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
11. 皮膚疾患と眼疾患	1. 小児の代表的な皮膚疾患と眼疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 皮膚疾患 1) アトピー性皮膚炎 2) 蕁状血管腫 3) 太田母斑 4) 魚鱗癬 5) 汗疹 6) 乳児脂漏性湿疹 7) 接触皮膚炎 2. 眼疾患 1) 結膜炎 2) 先天性鼻涙管閉塞 3) 斜視 4) 先天性白内障	2		講義 演習 発表
12. 耳鼻咽喉疾患	1. 小児の代表的な耳鼻咽喉疾患について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 先天性耳瘻孔 2. 外耳炎 3. 耳垢栓塞 4. 中耳炎 5. 鼻出血 6. 副鼻腔炎 7. アデノイド増殖症 8. 口蓋扁桃肥大 9. 扁桃炎 10. 急性声門下喉頭炎 11. 乳幼児の聴力検査	1		講義 演習 発表
13. 精神疾患と事故・外傷	1. 小児に多い精神疾患と事故・外傷について、病態生理・症状・検査・治療を理解できる。	1. 発達障害 1) 自閉スペクトラム症 2) 注意欠陥・多動性障害 (ADHD) 2. 神経症圏の疾患 3. 統合失調症 4. その他の行動上の障害 1) 不登校 2) いじめ 5. 事故・外傷 1) 不慮の事故 2) 頭部外傷 3) 誤飲・誤嚥 4) 溺水 5) 熱傷 6) 熱中症	3		講義 演習 発表
		修得試験	1	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 (2), 小児臨床看護各論, 医学書院. 2. こどもの病気の地図帳, 講談社.				
評価	1. 単位修得試験				
備考	実務経験：医師として、豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				